

「第3回沖縄県緩和ケア研修会2019」開催報告書

日時：令和元年9月28日(土) 9:00～17:30

場所：沖縄県立中部病院 2階会議室

講師・ファシリテーター：医師6名、看護師・ソーシャルワーカー5名

参加者：18名(医師11名、看護師5名、薬剤師1名、理学療法士1名)

研修会内容：がん等の診療に携わる医師等に対する緩和ケア研修会

- ・e-learning の復習・質問
- ・全人的苦痛に対する緩和ケア(グループ演習)
- ・コミュニケーション(ロールプレイング)
- ・療養場所の選択と地域連携(グループ演習)
- ・がん患者等への支援(患者家族による講演)



<今回の研修会について>

- 研修態度に問題がある(ふてくされたような態度で参加されている)と感じられた受講生が1名いらっしゃいましたが、声かけることができず見守りとなってしまいました。
- コミュニケーションロールプレイのコメディカルチームでは患者さんへ伝えるにあたり、よい結果であれば、感謝されるが悪い知らせを伝える医師の立場では、コミュニケーションスキルがさらに重要になってきたと感じた。
- グループワークでは、訪問看護師の参加があることで医師とも情報交換ができ研修が効果的であったと感じました。

<今後の課題>

- 振り返りで時間をおすことが多かったため、講義の時間配分の工夫が必要。
- やはり、患者さんおよび患者さん家族のお話は長くなる傾向があります。あらかじめ10分～15分と話していましたが、30分要してしまいました。あらかじめ30分とおいた方が良いのではないかと思います。
- 講師の皆様へ、あらかじめアンケートの形で研修会の運営の意見を伺っておけばよかったと反省しました。
- 期間内にe-learning受講を促すよう、周知の工夫。
- 当日の服装、持ち物等に関する周知の工夫。